



県政報告

第8号 2013.3
ご意見・ご感想を
お寄せください

滋賀県議会 対話の会・しがねっと
〒520-8577 大津市京町4丁目1-1 県庁2階 [TEL]077-528-4057 [FAX]077-527-1839
[E-mail]info@shiga-net.jp [URL]shiga-net.jp

2月定例会県議会

だれもが

希望を持てる未来づくり

2月定例会は、平成25年度当初予算などの大型予算を決める重要な議会です。

主に、8つの重点テーマ(※裏面参照)を柱に、住み心地日本一の滋賀を目指し、慎重に審議しました。また、信楽高原鉄道の再建のため、県が貸し付けていた約9億5千万円の債権を放棄しました。今後、信楽高原鉄道は、上下分離方式に移行し、経営の安定を図るため運行に専念されます。更に、地域元氣交付金などを財源に、交番・駐在所の新築、県立学校耐震改修などの補正予算を決め、教育委員を新たに5名選任しました。

対話の会・しがねっとは、県民の安心・安全を守るため、調査活動などで得た教訓を活かし、沢田議員が代表質問に立ちました。

新年度予算について

Q 未来に希望を持ち、誇りと自信を持って、住み心地日本一の滋賀を目指せるよう、どのような注意で予算編成を行ったか。

A 知事 「社会成長」と「経済成長」の考えのもと、先駆的・戦略的な施策を重点的に取り組み、「住み心地日本一の滋賀」の実現を目指して力を注いできた。その中で、危機管理センターの整備や県立学校等の耐震対策、また、中小企業対策やいじめ対策、子育て支援、雇用対策などを重点的に取り組み、県民の不安を解消し、未来への安心に大きく前進したと考えている。

地域防災計画と原子力防災対策について

Q 現時点で広域避難については、どのような検討を行っているのか。

A 知事 UPZ圏内にある長浜市、高島市の避難は、大津市、草津市、甲賀市および東近江市を中心に受け入れ協議をし、状況に応じて他市町にも協力を求める。今後、福井県からの避難者の流入も想定しつつ、保有車両台数や道路形状等の情報を収集し、国の交付金を活用して広域避難の検討を進める。

Q 15基のモニタリング体制で十分といえるのか。県のモニタリング体制のあり方について伺う。



代表質問に立つ沢田議員

A 知事 15基のモニタリングポストと、2台のモニタリング車により、最低限の観測体制を整備できたと考えている。例えば、先日北朝鮮の核実験の影響がないかも、緊急でモニタリング調査を行った。今後、県北部地域の避難所や学校など住民に身近な場所、放射線量を測定できる簡易な測定器を備えていきたい。

流域治水基本条例の制定に向けて

Q 「流域治水基本方針」を実効性あるものとするために本年度中の条例化を目指していたと思うが、知事の考えを伺う。

A 知事 「地先の安全度マップ」の公表以降、他の法令との整合や、水没が想定される区域での建築制限について、対象となる区域の特性に応じた対応策を検討している。昨今の異常豪雨が頻発する状況踏まえ、水害から県民の命と財産を守るために、「流域治水基本方針」を実効性あるものとする必要があり、6月には条例制定できるよう取り組んでいく。

姉川(長浜市)馬渡橋の水位目安



地域住民だけでなく通行中の人にも分かりやすくすることが大事。

会派活動報告



「パノエ工房紀州」の安心で安全な管理体制の印

2/5~6 和歌山県へ防災・獣害対策について研修
台風12号の影響で甚大な被害がでた日高川町は、琵琶湖の半分ほどの面積。町の真ん中には、日本長い2級河川の日高川が流れ、治水目的で建設された椿山(つばやま)ダムがある。日高川町の防災室にて、防災対策の「こたまりプロジェクト」や、全町職員が防災士の資格取得を目指す取り組みを聞き、被災現場で生々しい災害時の状況を伺った。



落橋した皆瀬橋周辺。川の水位が誰でも分かるような目印がほしいとのこと。

3/4 滋賀県産材の利用について調査
滋賀県では、森林を適正かつ持続的に管理して行くために、木材を積極的に活用し、森林資源の循環利用を促進する取り組みが行われている。今回、滋賀県産材を外壁から内装に至るまで使った彦根東高校(彦根市)、同様に協働活用センターが新設されたびわこ地球市民の森(守山市)を調査した。更には、これら滋賀県産材の安定供給と品質管理を集中的に行う滋賀県森林組合連合会木材流通センター(東近江市)にも赴き、県内の木材市場の動向などについて伺った。

2/22 日野町有害獣害対策協議会へ獣害対策について研修
日野町は、総面積のうち林野率が52%で、獣害被害が年々深刻化。行政猟友会集落が一体となった対策強化。猟友会は、新技術を導入するなど、捕獲の手法も時代に即した柔軟なものへと進化。山中でチームを組みながら、捕獲した野生動物をいち早く獣肉処理加工施設まで運びこみ、健康なシカだけを選び、衛生面に気を配りながら解体処理。また、県内のレストランでもジビエ料理として提供。説明者の女性職員の方は、自らも捕獲に奔走する若手ハンターで、狩猟免許の更新についても伺った。

A 警察本部長 本年度の警察官定数は2,234人のうち、女性警察官の実数は146人。今後8年間で約80人の女性警察官を増やす。職場環境は、小型拳銃など装備面で工夫し、女性専用の仮眠室やトイレなどの施設を整備した。緊急の呼び出し時などに対応できる託児施設の確保が課題であり、解決策を見つけていく必要がある。

Q 警察職は、昼夜を分かたず、突発性緊急性を伴うため、男性警察官とともに肩を並べて任務を遂行し、県民に信頼される女性警察官としてキャリアを積みあげていくことは、公私ともに並大抵ではない。女性警察官の現状と増員計画、また女性特有の生理に理解ある職場の環境整備について伺う。

その他の質問
国際交流施策について
滋賀県が元気になる経済振興について
地域間格差の課題解決に向けて
滋賀県への2巡目国民体育大会の招致について
信託される学校づくりの取り組みについて



安心安全な滋賀を目指すための女性警察官の確保について

shiga-net.jp
会派ホームページ

寄せられたご意見は、県政にどんどん反映します。是非、ご覧ください。

